

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

# 広報 | 京丹波

No.102

2014年4月17日発行

4月号

林業を担う若人  
学び舎を巣立つ



特集 予算

一般会計 歳入

# 歳入

には、町税など町が自らの力で収入できるお金(自主財源)と、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金(依存財源)があります。グラフのとおり、

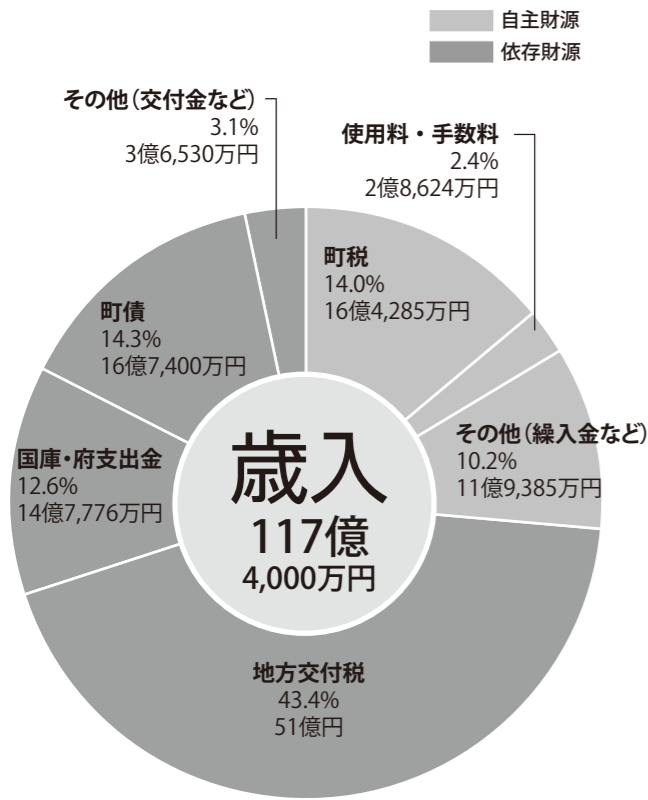
自主財源は歳入全体の二六・六%で、残りの七三・四%は国・府支出金(負担・補助・委託金)や町債(借入金)などの依存財源に頼っている状況です。

自主財源の柱である町税は一六億四、二八五万円を計上。現下の経済情勢の中にあつて、町民総所得は依然として減少傾向にあります。家屋の新増築による固定資産税の純増や法人町民税の増、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づく住民税所得割への加算(復興住民税)などにより、前年度と比べ三、七九四万円増額しています。

一方、依存財源では、最大の収入源である地方交付税を前年度と同額の五一億円としたほか、国・府支出金を二四億七、七七六万円、町債を二六億七、四〇〇万円見込んでいます。

歳入においては、多様な諸課題に対応するため、基金などからの繰入金や交付税算入の高い有利な地方債を活用し、財源確保をしています。平成二十七年以降における普通交付税などの合併算定替の減少に伴う収入減に備えた財健全化対策にも引き続き努めています。

なお、そのほかの歳入はグラフのとおり見込んでいます。



今月の表紙

京都府立林業大学の第1期生17人がこのほど、同校を卒業。それぞれが、林業の最前線へと旅立ちました。(関連記事を17ページに記載)

## No.102 CONTENTS

### 2 【特集】予算

8 丹波瑞穂統合簡易水道整備事業  
公共事業再評価審査委員会の審査結果は「現計画を継続とする町の対応方針案は妥当」

10 1期生17人が林業の最前線へ飛び立つ  
京都府立林業大学卒業式

11 丹波PA(仮称)と一体的な地域振興拠点施設  
道の駅名称を『京丹波 味夢の里』に決定

12 職員の配置

15 暮らしのガイド  
後期高齢者医療制度に関するお知らせ

16 Dr's Message いきいき健康術

17 **FLASH** KYOTAMBA TOWN NEWS 2014

- 町内から三人が受賞  
一府スポーツ表彰式
- 地域から発信する観光振興  
一観光シンポジウム
- 球児たちの姿を描き受賞  
一京都広報賞
- スポーツ・文化の功績を表彰  
一文化賞・スポーツ賞
- 有事に身を守る避難訓練  
一原子力災害住民避難訓練
- 健康で高齢を楽しもう  
一地域包括医療講演会
- 慣れ親しんだ校舎を旅立つ  
一卒業式・卒園式
- 地域福祉に尽力し受賞  
一永年勤続民生委員・児童委員表彰

一般会計 歳出 [性別別]

# 歳出

のうち、人件費や扶助費(医療費助成などの経費)、公債費(町債の返済金)は「義務的経費」として支出が義務付けられています。本町では義務的経費

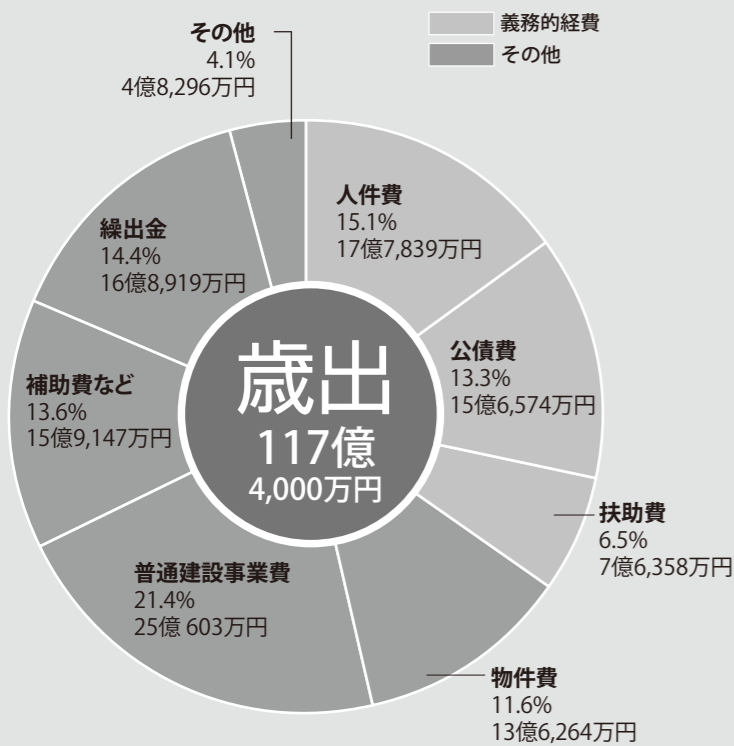
が歳出全体の約三四・九%(グラフ参照)を占めており、昨年度と比べて一・〇ポイント減少しましたが、依然として町の財政は硬直化した状況にあります。

項目別に見ると、人件費は二七億七、八三九万円を計上し、前年度に比べて一、一五五万円の増額。特別職給与や管理職手当の減額、時間外勤務手当の抑制、職員の定員適正化などに努めるとともに、人事評価の試行実施を継続して行います。

公債費については一五億六、五七四万円(元金一三億七、七七二万円、利子一億八、八〇二万円)を計上。引き続き地方債残高の抑制に努めるとともに、交付税算入の有利な地方債の活用など財健全化に向けた対策を講じます。

また、物件費は、事務経費の削減をはじめ、臨時雇用賃金や光熱水費などの縮減に取り組んでいます。臨時福祉給付金の支給などにより前年度に比べ一、四〇〇万円の増額を見込んでいます。

なお、事業内容の詳細は次ページのとおりです。



【一般会計】主な使いみち

# 117億円をこう使う

ごみ処理対策事業…………… 265万円  
 船井郡衛生管理組合に関する経費 …… 2億7,923万円  
 水道事業特別会計繰出金…………… 5億3,580万円

**農林水産業費 13億611万円**

農業委員会の運営など…………… 1,505万円  
 農業総務費(職員の給与など)…………… 7,146万円  
 中山間地域等直接支払事業…………… 1億1,476万円  
 水田農業構造改革対策助成事業…………… 2,187万円  
 農業公社運営補助…………… 1,750万円  
 多面的機能支払交付金事業…………… 2,499万円  
 京都・丹波食彩の工房管理運営委託…………… 691万円  
 瑞穂マスターズ施設管理運営委託…………… 142万円  
 有害鳥獣対策事業…………… 5,755万円  
 後継者育成事業…………… 643万円  
 京丹波「食の郷」創造プロジェクト事業…………… 650万円  
 京力農場プラン事業…………… 1,983万円  
 ほんまもん京ブランド産地支援事業…………… 2,954万円  
 経営体育成支援事業…………… 301万円  
 明日のむら人移住促進事業…………… 570万円  
 その他農業振興に関する経費…………… 3,347万円  
 鳥インフルエンザ発生農場跡地活用事業…………… 1億69万円  
 畜産振興に関する経費…………… 1,155万円  
 農地保全事業…………… 900万円  
 下水道事業特別会計繰出金…………… 2億909万円  
 (農業集落排水事業)  
 土地改良施設維持管理事業…………… 7,000万円  
 その他農地保全などに関する経費…………… 873万円  
 山村開発センターの管理運営…………… 739万円  
 情報センターの管理運営…………… 2億4,881万円  
 (職員給与など含む)  
 新山村振興等農林漁業特別対策事業…………… 4万円

介護予防安心住まい推進事業…………… 100万円  
 その他老人福祉に関する経費…………… 930万円  
 国民年金事務に関する経費…………… 101万円  
 すこやか子育て医療費助成事業…………… 2,322万円  
 京都子育て支援医療助成事業…………… 1,209万円  
 すこやか子育て祝金事業…………… 800万円  
 児童手当支給事業…………… 1億9,245万円  
 子育て世帯臨時特例給付金支給事業…………… 1,326万円  
 障害児通所給付費等事業…………… 888万円  
 その他子育て支援に関する経費…………… 2,529万円  
 母子父子家庭医療事業など…………… 1,113万円  
 子育て支援センター事業…………… 407万円  
 保育所の運営管理(職員給与など含む)…………… 3億2,992万円  
 災害見舞金支給事業…………… 10万円

**衛生費 15億2,381万円**

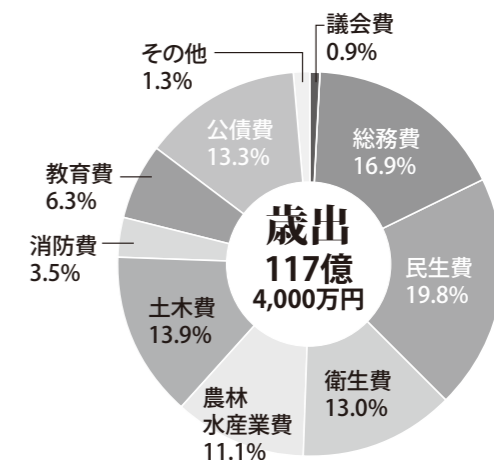
保健衛生総務費(職員給与など)…………… 1億1,202万円  
 母子保健・健康増進事業…………… 2,005万円  
 特定健康診査等事業…………… 1,840万円  
 後期高齢者健康診査事業…………… 748万円  
 その他保健事業に関する経費…………… 4,846万円  
 予防接種事業…………… 3,380万円  
 合併浄化槽設置整備事業…………… 543万円  
 下水道事業特別会計繰出金…………… 5,542万円  
 (浄化槽市町村整備推進事業)  
 新エネルギー導入促進事業…………… 601万円  
 その他環境衛生に関する経費…………… 400万円  
 南丹病院組合負担金…………… 1,766万円  
 京丹波町病院事業運営補助金…………… 3億5,689万円  
 地域包括ケア推進事業…………… 350万円  
 医師確保奨学金・医療等審議会事業など…………… 291万円  
 保健センター管理事業…………… 1,412万円

グリーンランドみずほ管理運営事業…………… 2,093万円  
 グリーンランドみずほホッケー場改修工事…………… 1億9,800万円  
 駅を守る会事業(和知駅振興委託料など)…………… 342万円  
 町営バス運行事業特別会計繰出金…………… 7,123万円  
 町営バス利用促進補助…………… 209万円  
 交通対策に関する経費…………… 222万円  
 (交通安全啓発や交通指導員活動、放置車両対策など)  
 犯罪被害者見舞金…………… 30万円  
 自治振興補助金事業…………… 60万円  
 協働のまちづくり・地域支援事業など…………… 607万円  
 ホームページ・行政情報システムの運用管理…………… 5,787万円  
 友好町交流推進事業…………… 18万円  
 国際交流推進事業…………… 322万円  
 人権啓発・男女共同参画推進など…………… 323万円  
 京都地方税機構負担金…………… 1,421万円  
 税務に関する経費(職員給与など含む)…………… 8,641万円  
 戸籍住民基本台帳管理に関する経費…………… 2,934万円  
 (職員給与など含む)  
 選挙管理委員会・選挙啓発事業…………… 67万円  
 京都府知事・農業委員選挙執行事業…………… 1,386万円  
 各種統計調査に関する経費(農林業センサスなど)…………… 457万円  
 監査委員会事業…………… 60万円

**民生費 23億2,026万円**

国民健康保険特別会計繰出金…………… 1億1,696万円  
 臨時福祉給付金事業…………… 4,756万円  
 社会福祉総務に関する経費…………… 2億6,632万円  
 (民生児童委員活動事業や職員給与など)  
 和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託…………… 70万円  
 共同作業所入所訓練事業…………… 2,199万円  
 重度心身障害老人健康管理事業…………… 2,945万円  
 心身障害者医療事業…………… 5,600万円  
 自立支援医療給付事業…………… 2,733万円  
 障害者自立支援事業…………… 3億5,259万円  
 地域生活支援事業…………… 4,545万円  
 その他障害者福祉に関する経費…………… 752万円  
 老人医療事業…………… 3,696万円  
 シルバー人材センター事業…………… 633万円  
 介護保険特別会計繰出金…………… 3億6,080万円  
 在宅高齢者等生活支援事業…………… 2,729万円  
 府後期高齢者医療広域連合事務事業…………… 2億7,041万円  
 地域包括ケアシステム推進事業…………… 687万円

一般会計 歳出 目的別



**議会費 1億99万円**

議会運営に関する経費…………… 1億99万円  
 (議員報酬や職員給与など含む)

**総務費 19億8,140万円**

一般管理に関する経費…………… 4億3,592万円  
 (区長会運営や電子入札、職員研修、職員給与など)  
 広報京丹波(おしらせ版含む)の発行など…………… 411万円  
 例規集管理事業…………… 501万円  
 財政・会計・財産管理に関する経費…………… 7億9,784万円  
 (町有財産・庁舎管理、基金積立事業など)  
 その他総合企画に関する経費…………… 647万円  
 支所の管理に関する経費…………… 2億1,031万円  
 (支所管理や団地造成、職員給与など)  
 公平委員会事業…………… 6万円  
 街灯設置補助金・防犯協会負担金など…………… 267万円



「食の宝庫 京丹波」を町内外にアピールするイベント「食の祭典」。例年、盛況を博しています(丹波自然運動公園・曾根)



各地区を巡回する住民健診。健康管理のために、積極的に受診してください(三ノ宮基幹集落センター・三ノ宮)



町長と町民の皆さんが、ひざを交えて語り合う「町長と語るつどい」。本年度も6月から開催予定です(上野住民センター・上野)

# 特別会計当初予算の概要

## 国民健康保険事業

歳入のうち、自主財源である国民健康保険税は三億七、三二九万円。主な歳出は、保険給付費に一三億二、四二四万円、後期高齢者支援助金に二億五、一五五万円、特定健診などの保健事業費に三、八八〇万円を計上しています。

## 後期高齢者医療

後期高齢者医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合の算定に基づく保険料を徴収し、納付するための予算を計上しています。

歳入のうち、自主財源である保険料は一億四、九七〇万円。主な歳出は、同広域連合への納付金に二億、九三七万円、人間ドック助成事業に三〇二万円を計上しています。

## 介護保険事業

事業勘定の歳入のうち、自主財源である保険料は三億五、七五八万円。主な歳出は、保険給付費に十九億五、一〇八万円、地域支援事業費に五、五五六万円を計上しています。

また、サービス事業勘定では地域包括支援センターを拠点に介護予防支援事業を推進するための予算を計上し、老健施設サービス勘定では和知診療所二階に設置している老健施設の運営や入所サービスの提供などを行う予算を見込んでいます。

## 水道事業

歳入のうち、使用料は五億二、〇四四万円。

## 土木費 16億3,204万円

土木総務費(職員給与など含む) 1億719万円  
 道路台帳整備事業 249万円  
 交通安全施設設置事業 550万円  
 道路橋りょうの維持管理など 4,131万円  
 道路新設改良事業 11億7,253万円  
 河川維持管理事業 1,187万円  
 ダム関連対策事業 56万円  
 都市・国土利用計画に関する経費 15万円  
 都市公園施設管理事業 260万円  
 下水道事業特別会計繰出金 2億6,688万円  
 (公共下水道事業)  
 町営住宅維持管理事業 1,181万円  
 木造住宅耐震診断・改修事業 264万円  
 住宅改修補助金交付事業 500万円  
 断地域再建被災者住宅等支援補助金交付事業 150万円



町商工会が発行するプレミアム商品券。本年度も発行の支援を行います

## 消防費 4億1,593万円

京都中部広域消防組合負担金 2億4,258万円  
 消防団活動運営事業 7,374万円  
 消防施設の維持管理 1,193万円  
 断操法訓練大会事業 460万円  
 消防施設整備事業 5,147万円  
 (車両更新、防火水槽設置など)  
 その他消防防災に関する経費 166万円  
 防災事業(放射線量計などの購入) 323万円  
 防災行政無線維持管理事業 2,446万円  
 自主防災組織育成事業 100万円  
 その他防災・災害対策に関する経費 124万円

## 教育費 7億4,108万円

教育委員活動事業 144万円  
 学童保育事業 1,403万円  
 教育振興計画策定事業 67万円  
 教育委員会事務局一般経費 1億3,405万円  
 (職員給与や学校指導主事設置など)  
 育英資金給付事業特別会計繰出金 204万円  
 小学校の管理に関する経費 9,189万円  
 (職員給与など含む)  
 小学校学習支援教員等配置事業 1,489万円  
 その他小学校教育振興に関する経費 2,830万円  
 中学校の管理に関する経費(職員給与など) 6,661万円  
 中学校教育振興に関する経費 6,194万円  
 (中学生国際交流、スクールバス運行など)  
 幼稚園の管理運営に関する経費 6,599万円  
 (職員給与など含む)  
 社会教育振興に関する経費 1,465万円  
 (社会教育団体育成や成人式開催など)  
 公民館管理運営、図書館活動など 4,411万円  
 文化財保護に関する経費 658万円  
 社会体育振興に関する経費 820万円  
 (生涯スポーツ振興や体育団体育成など)  
 体育施設の維持管理に関する経費 4,378万円  
 学校給食事業(職員給与など含む) 1億4,191万円

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。  
 ※新規事業には断をつけています。



日ごろの訓練成果を発揮して競い合う操法大会。町操法大会は6月1日に開催予定です(わちグラウンド・安栖里)

## 下水道事業

主な歳出は、下水道事業に一億八五四万円、簡易水道事業に二億六、四二〇万円、公債費の償還に七億五三二万円を計上しています。  
 なお、統合簡易水道整備事業は、丹波・瑞穂地区で八七%、和知地区で七九%の進捗よく(二十五年度末)を見込んでいます。

## 町営バス運行事業

歳入のうち、使用料は二億五、二二四万円。主な歳出は、農業集落排水費に一億三、五二八万円、公共下水道費に一億三、二二二万円、浄化槽市町村整備推進施設費に一億九〇〇万円を計上しています。

## 土地取得

児童・生徒の通学や町民の交通手段確保のための町営バス運行に要する費用を計上しています。

## 育英資金給付事業

基金の運用による利子分を計上しています。  
 育英資金の目的に基づいた給付金の支給経費を計上しています。

## 国保京丹波町病院事業

京丹波町病院、質美診療所、和知診療所、和知歯科診療所の経費を一括して計上しています。収益的収入では、入院や外来などの医業収益として、京丹波町病院に五億七、八〇〇万

円、和知診療所に七、二二二万円、和知歯科診療所に五、七〇二万円を計上。一方、収益的支出における医業費用として、全体で九億二、六〇八万円を計上しています。

※いずれも二万円未満は四捨五入。

### 会計別一覧

会計名	本年度	前年度	比較
<b>一般会計</b>	<b>117億4,000万円</b>	<b>113億1,800万円</b>	<b>4億2,200万円</b>
<b>特別会計・企業会計</b>	<b>81億1,398万円</b>	<b>79億9,742万円</b>	<b>1億1,656万円</b>
国民健康保険事業	19億8,655万円	20億8,004万円	△9,349万円
後期高齢者医療	2億2,672万円	2億1,623万円	1,049万円
介護保険事業(事業勘定)	20億3,324万円	20億2,420万円	904万円
介護保険事業(サービス事業勘定)	673万円	740万円	△67万円
介護保険事業(老人保健施設サービス勘定)	1億5,720万円	1億5,350万円	370万円
水道事業	14億8,080万円	13億4,520万円	1億3,560万円
下水道事業	9億6,390万円	9億7,900万円	△1,510万円
町営バス運行事業	1億2,056万円	1億 30万円	2,026万円
土地取得	23万円	23万円	増減なし
育英資金給付事業	412万円	502万円	△90万円
国保京丹波町病院事業	11億3,393万円	10億8,630万円	4,763万円

平成26年度末の京都縦貫自動車道全線開通に合わせてオープン予定の丹波PA(仮称)と一体的な地域振興拠点施設。このほど、道の駅としての名称を「京丹波 味夢の里」に決定しました。

本町では、今後、この施設を町へ訪れる新たな玄関口として、オープンに向け整備を進めます。



丹波PA(仮称)と

# 道の駅名称を 『京丹波 味夢の里』 に決定

一体的な地域振興拠点施設

一体的な



最優秀賞を受賞した(左から)木村さんと中西さん(役場町長室・蒲生)

今回の道の駅名称募集には、全国から三百二十件の応募がありました。名称は、選考委員会において審議を行い、応募作品の中から「京丹波 味夢の里」に決定しました。

本町では、今回の募集において、「味夢の里」として応募された木村均さん(実勢)と中西真美さん(蒲生野)に最優秀賞の授与を決定。三月十九日に役場町長室において、寺尾豊爾町長が、二人に表彰状と副賞を授与しました。

受賞した中西さんは「自分が考えた名前が道の駅の名前に決まって、これを機会に多くの人に特産品と京丹波のよさを知ってもらえれば良いと思います」と名前に込めた思いを話していました。

## 三百二十件の 応募作品から決定

## 「京丹波味夢の里」 に込めた思い

町内四つめの道の駅として名称が決定した「京丹波 味夢の里」。この名称には、本町をアピールするために欠かすことができない「京丹波」とともに、それぞれの文字に次の思いを込めて決定しました。

### 味

丹波マツタケや丹波くりなど、本町には多くの「食」に関係する特産物があり、イベントも開催している。「味」は、その食材のおいしさに通じるものであること。

### 夢

この施設に対する地域振興の拠点としての期待。町の将来への「夢」を託すもの。

### 里

本町は丹波高原のなだらかな山並みに囲まれた里。この地域の風景を表現しているもの。

## 1期生17人が林業の最前線へ飛び立つ

# 京都府立林業大学校卒業式

平成24年4月に西日本唯一の林業専門の大学校として開校した京都府立林業大学校。同校の第1期生17人がこのほど、2年間の課程を修了して卒業式を迎えました。卒業式の様子と、卒業生たちの今後への思いをお伝えします。



卒業証書を受け取る卒業生(和知ふれあいセンター・本庄)

## 活躍を誓い卒業

三月十日に和知ふれあいセンターで行われた京都府立林業大学校の卒業式には、卒業生十七人をはじめ、在校生や学校関係者のほか、卒業生の家族などが出席しました。

式では、同校の只木良也校長が、卒業生一人ひとりに卒業証書を授与後、卒業生を何もない土地(裸地)で自然が形成される際に最初に生える先駆植物(パイオニア)に例え、「パイオニアの働きがあつてこそ自然が完成するもの。通常は厳しい環境からスタートするものですが、第一期生は、各方面からの支援を受け、とても幸せだったと思います。これからもパイオニアの道は続き、厳しいことやつらいこともあると思いますが、その

時は林大や和知のまちのことを思い出してがんばってください」と卒業生たちの門出にあたって応援の言葉を送りました。

卒業生を代表して答辞を述べた高崎則兎さんは「林業や木材産業、京都という土地柄こそその寺社における木材利用

など、さまざまな林業の現場を訪れる機会を与えていただきました。これからは本校で培った基礎をもとに、一人前の技術者を目指して自ら学び、知識と技能を磨いていきます」と、参加した人たちに今後の林業を担う一員としての活躍を誓いました。

## Interview 町内でも活躍します

林業大学校を卒業した1期生十七人のうち、四月から京丹波森林組合で頑張る二人の思いを聞きました。



### 藤本和磨さん(大倉)

二年前に入学して、たくさんの方を学ばせてもらいました。しかし、まだ全然学び足りないと思っているので、地元森林組合でがんばっていきたくです。二年間の学校生活では、長い距離と一緒に歩いた日本海ウォーキングがとても印象的でした。



### 高崎則兎さん(升谷)

取り組んだことが盛りだくさんだったけど、振り返ると短かったように思います。まだまだ未熟な部分も多いと思うので、先輩を見習って、地域の山に携わることで、お世話になった分の恩返しになればと思っています。

# 丹波瑞穂統合簡易水道整備事業 公共事業再評価審査委員会の審査結果

## 「現計画を継続とする町の対応方針案は妥当」

京丹波町公共事業再評価審査委員会(以下「委員会」)が3月17日、依頼を受けていた「丹波瑞穂統合簡易水道整備事業の再評価」について、寺尾豊爾町長に審査意見書を提出。意見書を受けた寺尾町長は、「今回いただいた意見書に従い、事業を進めていきます」と話し、3月24日には今後の対応方針を委員会に報告しました。



寺尾町長に意見書を手渡す白石委員長(役場町長室・蒲生)

### 公共事業の再評価とは

公共事業の効率的な執行および実施過程の透明性を図る観点から、「予算化されているが五年間経過した後も未着手の事業」「継続中で十年間を経過した事業」などを対象に、社会経済情勢の変化などを踏まえて改めて検証するため、委員会で審査し、町長に意見します。

町長は、委員会の意見を尊重し、事業の継続、休止、または中止の対応方針を決定し、委員会へ報告および公表をします。

なお、今回の水道事業に係る再評価

### 現地踏査などを経て審査

委員会では、二月六日の初会合を皮切りに、二月二十日には畑川浄水場(町水道課事務所)や畑川ダムなどを踏査。三月六日に最終会合を開き、対象事業についての審査を行いました。審査結果は、三月十七日に白石委員長(龍谷大学政策学部教授)と吉川文則副委員長(平成二十五年町区長会会長)が役場町長室を訪れ、審査意見書として寺尾町長に手渡されました。

なお、の主な内容は次のとおりです。

#### 【審査結果】

丹波瑞穂統合簡易水道整備事業の再評価については、委員会に提出された資料や現地踏査における説明などに基き、適切に事業が進められており、現計画を継続とする町の対応方針(案)は妥当であると判断します。

#### 【意見】

畑川ダムにより安定した水源が確保でき、ダム建設事業と並行してきた本事業の実施により、事業経営および新規水源供給の効率化を図り、地域住民の公衆衛生の向上に努めていただいています。

平成十年度の事業採択から長期経過

### 事業概要

- 事業期間:平成10年度～28年度  
(平成16年度に変更認可)
- 計画給水区域:旧丹波町および旧瑞穂町の区域
- 計画給水人口:19,000人
- 計画給水量:14,100m<sup>3</sup>/日
- 事業費:約158億円
- 主な事業内容(新設と既設を含む)  
新設水源(畑川ダム、下山、水原)  
新設浄水場(畑川、水原)  
新設改良配水池(12箇所)  
新設加圧ポンプ場(7箇所)  
導水管(3,095m)  
送水管(22,500m)  
配水管(87,500m)

審査は、厚生労働省からの通知などにより、原則五年ごとの評価をすることとなっているために行ったものです。

### 丹波瑞穂統合簡易水道整備事業の概況

丹波地区(旧丹波町)と瑞穂地区(旧瑞穂町)では、旧来からの宿命ともいえる水不足に加え、近年の生活様式の変化に伴う水需要の増大や降水量の減少により、新たな水源の確保が必須となっていました。

このため、長期的な需要を見通した水源開発とともに広域的な視野に立った施設整備を行い、円滑かつ効率的な水供給を行うことを目的に、平成九年に丹波町と瑞穂町で水道事業の一部事

務組合を設立。平成十年三月には、水道法に基づく水道事業の認可を得て、安定的な水道用水の供給を行うための丹波瑞穂統合簡易水道整備事業に着手しました。

主な整備施設は、畑川ダムをはじめとする水源、畑川および水原浄水場、統合に付随する導水管・送水管などです。

水源および浄水場の整備は、平成二十五年三月の畑川ダムの竣工、同年五月の取水開始により完了。今後は、畑川浄水場の高度処理設備の整備、管路などの整備を予定しています。

なお、事業開始は平成十年三月の水道事業認可からですが、平成十六年十月に下山グリーンハイツ簡易水道区を新たに統合簡易水道給水区域に取り込むなどの変更認可を受けています。

していますが、平成二十八年度の事業完了を目指して事業継続の必要性を認めます。引き続き安心安全を確保するための施設整備や維持管理の実施を要望いたします。

なお、大変厳しい財政事情であり、適宜残事業の精査や、コスト縮減に取り組みつつ、ダム水富栄養化などの水質変動に対処するために高度処理施設の検討と判断を行い、事業効果の早期実現に努められるよう申し添えて意見とします。

### 審査意見を受けての対応方針

審査意見を受け、町は今後の対応方

### 事業実施に当たっての留意事項

- ①事業の推進に当たっては、町民に対し十分な情報提供を行うとともに、事業の重要性、必要性について理解を得られるよう努める。
- ②施設整備および維持管理において安全かつ環境に配慮し、適切に対応する。
- ③今後の事業進捗よくに合わせ、計画の見直しや事業費の精査を行うとともに事業効果の早期実現に努める。



畑川浄水場の水処理システムについて説明を受ける委員(畑川浄水場・下山)



畑川浄水場の管理施設を踏査する委員(畑川浄水場・下山)

## 畑川浄水場

京丹波町下山クラベシ41番地

### 水道課 ☎83-9105

【課長】山田洋之  
【課長補佐】増谷隆男・山内和浩・八木敏和  
【上水道係長(事業担当)】宇野浩史  
【上水道係長(庶務担当)】高屋敦彦  
【下水道係長(事業担当)】樹山敬子  
【下水道係長(庶務担当)】岩崎勝也

吉田和晃・輕尾圭造・片山加奈・小崎亮太

## 瑞穂支所

京丹波町橋爪桧山49番地

### 瑞穂支所 代表☎86-0150

【支所長】川寫勇人  
【支所長補佐】上林太志  
【主任】野間 隆・谷口玲子

梅原千里・桐村杏菜・岡本 淳(地域支援担当)・伴田裕章(地域支援担当)・西山宏明(危機管理担当)

### 教育委員会社会教育課瑞穂分室 ☎86-1150

(友金輝幸)

## 和知支所

京丹波町本庄ウエ16番地

### 和知支所 代表☎84-0200

【支所長】榎川 諭  
【支所長補佐】山根美智代  
【主任】四方晴美

大西弘一・山西博美・村山奈央・山内秀文(地域支援担当)・出野文隆(地域支援担当)・原田結城(危機管理担当)

### 保健福祉課和知地域保健福祉室 ☎84-0049

【室長】谷口いづみ

堀 孝子

### 国保京丹波町病院 ☎86-0220

【院長】前田武昌  
【副院長】垣田秀治  
【事務長】(藤田正則)  
【看護師長(第1)】平田千春  
【看護師長(第2)】林 真紀  
【診療部長】(垣田秀治)  
【外科部長】(庄林 智)  
【事務長補佐】(中川 豊)  
【看護主任(副師長)】小川和代  
【事務主任】吉田敦美  
【看護主任】西山由里・片山比佐子

【内科医師】角谷慶人  
【事務員】細野江梨子  
【看護師】中村幸子・白波瀬小百合・上田ひとみ・山田加奈恵・谷掛郁代・大西好美・竹内美弥・田路利恵・能勢真由美・谷口紀久恵・新宮さちよ・稲元左希子・中村育美・村上永里子・吉田恵理子・北村友美・山本真紀・高屋里美・猪田満枝・田中美由紀・梶本由美子(新規採用)井尻友美(新規採用)  
【診療放射線技師】山内敏行  
【薬剤師】松村陽子・熊谷 明  
【理学療法士】井爪直美・伊藤正幸・森本勝則(新規採用)  
【管理栄養士】藤ノ井公代

## 健康管理センター

京丹波町須知鍋倉1番地1

### 子育て支援課 ☎82-1394

【課長】津田知美  
【主幹】山田由美子  
【支援係長】山内圭司  
【支援係主任】塩田 誠

【作業療法士】石原詩子

### 保健福祉課丹波地域保健福祉室 ☎82-1800

【室長】上西睦美

豊嶋裕美

## 中央公民館

京丹波町蒲生野口38番地

### 教育委員会社会教育課丹波分室 ☎82-0988

松谷洋二

## 瑞穂保健福祉センター

京丹波町和田田中6番地1

### 保健福祉課 ☎86-1800

【課長】下伊豆かおり  
【課長補佐】山鳥 強・井上祐子・上原美智子・永海貴子・岡本明美  
【健康推進係長】藤田むつみ  
【健康推進係主任】堀 道枝  
【福祉係長】山内善史  
【福祉係主任】芦谷真由美  
【介護保険係長】(岡本明美)  
【包括支援センター主任】島田恵子

片山晴子・竹村 洋・西村明美・高屋要子・片山 哲・高見謙佑・一瀬紳司

【栄養士】上林小百合

【保健師】西村美智子・保田智子・中川早苗・保ヶ部直子・蓮見純子・中 淑子・三田杏奈

## 京丹波町情報センター

京丹波町和田田中15番地1

### 企画政策課情報推進室 ☎88-5000

【室長】永武幸子  
【主任】野々口慶司・田畑昭彦・長谷川真

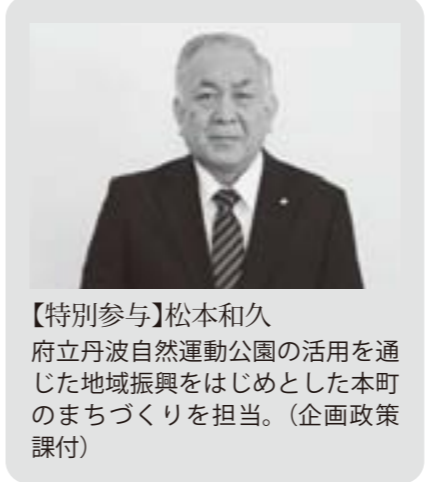
西村公貴・太田周人・野口雄祐

## 国保京丹波町病院

京丹波町和田大下28番地

### 医療政策課 ☎86-0220

【課長】藤田正則  
【課長補佐】中川 豊  
【医療係長】村山英紀



【特別参与】松本和久  
府立丹波自然運動公園の活用を通じた地域振興をはじめとした本町のまちづくりを担当。(企画政策課付)

### 農業委員会事務局 ☎82-3808

【事務局長】(栗林英治)  
【事務局長補佐】中野竜二  
(森田 亮)

### 商工観光課 ☎82-3809

【課長】山森英二  
【商工観光係長】小原直也  
【企業立地推進係長】山下 稔

西村 紗矢香

### 土木建築課 ☎82-3806

【課長】十倉隆英  
【課長補佐】保田志信  
【管理係長】原澤 恒  
【土木係長】山下 徹  
【建築係長】小松聖人  
【管理係主任】山内敏史

秋山卓弘・井上和宏・伊東拓馬・奥野武志・片山義章(新規採用)・門 大輔(新規採用)  
大秦 学(京都府派遣)

■開発プロジェクト推進室  
【室長】原田 聡(京都府)  
【主任】中村昭夫

### 会計室 ☎82-3804

【会計管理者】谷口 誠  
【室長】中井伸幸  
【出納係長】石田美穂

大森しおり(新規採用)

### 企画政策課 ☎82-3801

【課長】久木寿一  
【企画係長】田中晋雄  
【交通対策係長】小谷誠之  
【広報広聴係長】(小谷誠之)  
【主任】吉田 聡  
(北海道下川町派遣)

水間和美・正田智久・倉澤晋平(北海道下川町)村山裕信

■地域支援室  
【室長】堀 友輔  
【主任】(田中晋雄)

■地域資源活用推進室  
【室長】(堀 友輔)

### 税務課 ☎82-3802

【課長】松山征義  
【課長補佐】光枝三千代  
【賦課係長】大西孝治  
【徴収係長】小山 潤  
【主任】堀内浩二(地方税機構派遣)山本桂市(地方税機構派遣)

福本糸み子・松浦由香(新規採用)中澤紘士(地方税機構派遣)

### 住民課 ☎82-3803

【課長】長澤 誠  
【主幹】田中博典(船井郡衛生管理組合派遣)  
【課長補佐】山田和志  
【戸籍住民係長】山内智美  
【戸籍住民係主任】藤井知宝  
【保険年金係長】山内明宏  
【環境推進係長】並河直樹  
【人権推進係長】島 文子

四方妃佐子・金江美和・小池由加里・正田志帆・岡本みずき・瀬戸垂弓(新規採用)

### 農林振興課 ☎82-3808

【課長】栗林英治  
【課長補佐】藤井雅文  
【農林振興係長】橋本賢二  
【農林振興係主任】村田弘之・西山直人  
【農林事業係長】井上晴之  
【農林事業係主任】荻野雅則

下村邦喜・森田 亮・隅田和樹・坂本憲吾



## 京丹波町役場本庁

京丹波町蒲生八ツ谷62番地6  
代表☎82-0200

### 議会事務局 ☎82-3805

【事務局長】堂本光浩  
【局長補佐】西野菜保子  
【庶務係長】(西野菜保子)

山口知哉

【参事】伴田邦雄(総務福祉担当)藤田 真(事業担当)

### 総務課 ☎82-3800

【課長】中尾達也  
【課長補佐】豊嶋浩史  
【総務係長】保田利和  
【人事秘書係長】原澤 洋  
【財政係長】(豊嶋浩史)  
【財政係主任】石田武史

松下由美・上原康宏・井口理恵・川勝千裕・坂本美佳子・野口尊正・渊上菜央(新規採用)

■危機管理室  
【室長】片山 健  
【主任】北村和正

久保元真一

### 監理課 ☎82-3811

【課長】木南哲也  
【総務契約係長】(木南哲也)  
【指導検査係長】小林篤史

井上慎也(新規採用)

# 後期高齢者医療制度に関するお知らせ

## ■平成26・27年度の保険料率が決まりました

後期高齢者医療の保険料率は、運営主体である後期高齢者医療広域連合が定めることになっており、2年ごとに見直しが行われます。今回、平成26・27年度の保険料率が決定しましたのでお知らせします。

### ●保険料の決め方

(京都府における平成26・27年度の年間保険料)

保険料額は、均等割額と所得割額の合計額(「表1」参照)となり、京都府の保険料率は次のとおりです。なお、保険料は被保険者お一人おひとりに納めていただきます。

●保険料率： **均等割額 47,480円** / **所得割率 9.17%**

### 「表1」保険料額の算定式

$$\text{年間保険料 (限度額57万円)} = \text{均等割額 47,480円} + \text{所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額33万円) × 所得割率9.17\%}$$

※「総所得金額等」は、収入額から控除額を差し引いた額です。(控除額とは、公的年金等控除額、給与所得控除額、必要経費のことであり、所得控除(社会保険料控除、扶養控除など)は含みません)

### \*不均一保険料率の終了について

本町を含め医療費が著しく低い市町村については、特例として平成20年度から6年間、低い保険料率が設定されていましたが、特例期間終了により、平成26年度から京都府内均一の保険料率となります。

### ●保険料のしくみ

後期高齢者医療制度は、世代間で負担を分かち合い、支え合うしくみになっています。

医療給付にかかる費用の5割は公費負担(※)、4割は現役世代からの支援金で賄われ、残りの1割が保険料となります。(※国・府・市町村が負担します。)



### ●所得の低い方の軽減措置

所得の低い方は、世帯(被保険者全員と世帯主)の所得に応じて、保険料の均等割額が軽減されます(「表2」参照)。また、所得割額の算定において、総所得金額等から基礎控除額33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割額が5割軽減されます。

### 「表2」均等割額の軽減割合

総所得金額等(被保険者+世帯主)が下記の基準を超えない世帯	軽減割合
8.5割軽減の対象となる世帯のうち、被保険者全員が年金収入80万円以下(その他の各種所得がない)の世帯の方	9割
基礎控除額(33万円)	8.5割
基礎控除額(33万円) + 24.5万円 × 被保険者の数	5割
基礎控除額(33万円) + 45万円 × 被保険者の数	2割

※制度加入の前日まで会社の健康保険の被扶養者であった方は、当分の間、所得割額はかからず、均等割額が9割軽減されます。(国民健康保険や国保組合の加入者は該当しません。)

※税法上の申告内容に基づき所得確認をしますので、保険料の軽減を受けるには、申告義務が無い方(障害・遺族年金などの受給者、被扶養者、所得のない方)であっても、必ず所得の申告をしていただく必要があります。

【問】住民課 ☎82-3803

### 須知幼稚園 ☎82-0151

【園長】西村喜代美  
【教頭】浦井美紀  
【主任】(浦井美紀)・堀 敬之  
【教諭など】  
湊 玲奈・小林和子・小森由佳梨・  
新庄美和子・越浦宏美(養護教諭)

### 小中学校

【蒲生野中学校】和田 隆

### 給食センター

【センター長】(竹内 健)  
【丹波給食センター】水口さき子  
【瑞穂給食センター】小林富美子

### 退職職員

(3月31日付、敬称略。( )は前職)

岩崎弘一(参事(総務福祉担当))  
野間広和(参事(事業担当))  
岡本佐登美(保健福祉課長)  
山田泰行  
(教育委員会事務局社会教育課長補佐兼社会教育係長)  
横井大祐  
(国保京丹波町病院内科医長)  
細川奈緒美(上豊田保育所主任)  
山内幸子(わちエンジェル主任)  
太田創一(総務課主査)  
大槻澄子(保健福祉課主査)  
松村康弘  
(教育委員会事務局学校教育課主査)  
村山美智子  
(丹波ひかり小学校用務員)  
山口利一(須知幼稚園主査)  
江本宗玄(水道課主事)  
野村彩佳(みずほ保育所保育士)

### 和知歯科診療所

京丹波町本庄今福13番地

### 和知歯科診療所 ☎84-1154

【所長】舟木 健  
【事務長】(野村雅浩)  
【歯科医師】三浦博人  
【主任】山口秀子  
【歯科衛生士】片山昭子  
【歯科技工士】堀 太

### 学校・保育園など

#### 上豊田保育所 ☎82-2056

【所長】真野照美  
【所長補佐】北村恵里子  
【主任】細見ルミ  
【保育士など】野口加代里・森こず枝・  
越川憲子・加藤亜希子・  
谷 麻美・中西靖浩・  
伴田絵理・  
池田直未(新規採用)  
小西愛紀(養護教諭)  
野口朝美(管理栄養士)

#### ■下山分園 ☎83-0004

【園長】(真野照美)  
【主任】(北村恵里子)  
【保育士】  
佐々谷美穂

#### みずほ保育所 ☎86-0574

【所長】一谷 寛  
【所長補佐】東 直美  
【主任】山内里佳子  
【保育士】小室由紀・今川奈未・  
久保元恵子・松村春成・  
山内 咲・  
澁井章子(新規採用)

#### わちエンジェル ☎84-1920

【所長】山内善博  
【主任】下村秀美  
【保育士】  
蒲生沙奈美・大秦優子・梅原彰子

### 教育委員会

京丹波町本庄ウエ16番地

#### 教育委員会 ☎84-0028

【次長(参事)】中尾裕之

#### ■学校教育課

【課長】(中尾裕之)  
【課長補佐】竹内 健  
【総務係長】徳島康善  
【学校教育係長】上西貴幸  
【学校教育係主任】上林潤子

山本美子・山口紗也香

#### ■社会教育課

【課長】大西義弘  
(兼B&G海洋センター所長)  
【課長補佐】木下浩昭  
【文化財係長】山下 泰  
【社会教育係長】(木下浩昭)

原澤美和・友金輝幸・川野雅夫・  
奥田康平

### 和知診療所

京丹波町本庄今福5番地

#### 和知診療所(介護療養型老人保健施設)

☎84-1112

【所長】庄林 智  
【事務長】野村雅浩  
【看護師長】石田由美子  
【副所長】仲村 司  
【事務主任】片山利枝・十倉克也  
【看護主任】大西正美・伏原幸子

【看護師】竹内秀子・竹内和代・  
大西初美・貞守京子・  
小寺恵美・野村厚子・  
滝波美由紀

【診療放射線技師】諫本慶春  
【理学療法士】大田有次  
【介護支援専門員】安藝俊郎





着地型観光について話す井門さん(丹波マーケス・須知)

## 地域から発信する観光振興

■観光シンポジウム  
町観光協会主催の観光シンポジウムが、二月二十六日、丹波マーケスコミュニティーホールで開催。株式会社井門観光研究所代表取締役の井門隆夫さんが、地域資源を生かした「着地型観光」による観光振興について講演しました。講演で井門さんは、法改正

により地域限定で旅行業が営むことができるようになったことを紹介。現在、各地の観光協会が実施とともに、地域の人しかわからない資源をものごとりでつないだオープンナルツアーの重要性や、今後の観光振興に欠かせない「着地型観光」における地域での連携と協業の必要性を話しました。参加した人たちは、井門さんが話す本町の状況に関連するキーワードを交えた講演を、真剣に聞いていました。

## 球児たちの姿を描き受賞

■京都広報賞  
本町ケーブルテレビが製作した「勝利に向かって一つになれた夏〜須知高校野球部〜」がこのほど、京都広報賞の知事賞を受賞しました。この作品は、甲子園へとつながる京都府予選において、須知高校野球部が厳しい練習に耐えて健闘する姿を、チームを支える副キャプテンの姿を中心に描いた作品。審査では、長期の撮影日数の中で、現場での選手の声とインタビュー



受賞作品の一場面

ビューを、メリハリをつけて構成している点などが評価されました。今回の受賞は、昨年に続いての受賞。今回知事賞を受賞した作品は、全国広報コンクールに出品されます。

## 町内から三人が受賞

### ■府スポーツ表彰式

スポーツに関して優秀な成果を収めた団体・個人などを表彰する京都府スポーツ表彰式が二月二十七日、京都テルサ(京都市)で開催。本町から三人が受賞しました。式典では、山田啓二京都市知事が各賞の代表者に表彰状などを授与。来場者からは祝福の拍手が送られました。府スポーツ賞の優秀賞を受賞し

た北村咲幸さん(豊田)は、「自分がかんばったことで表彰してもらえるのはうれしいことです。(今年も最低でも日本一になって、世界で通用する選手になることを目指してかんばつていきたいです)と今後のさらなる飛躍を誓っていました。本町からの受賞者と主な成績は次のとおりです。

▼優秀賞  
福知山成美高等学校 北村咲幸・若井衣有ペア/二〇二三マドンナカップビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会 優勝  
▼未来くん賞  
梅原三和(大倉)/B & G杯全日本少年少女カヌー大会二〇一



優秀賞を受賞した北村さん(写真右)

三女子カヤックペア 二位  
野間咲月(丹谷)/B & G杯全日本少年少女カヌー大会二〇一三 女子カヤックペア二位・カヤックシングル三位



未来くん賞を受賞した(左から)梅原さんと野間さん

Dr's Message

## いきいき健康術 第80回

# 『PM2.5について知っておこう』



病院長 前田 武昌 先生(京丹波町病院)

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波町病院の前田武昌院長。最近、テレビなどでも取り上げられているPM2.5に関するお話です。

最近PM2.5という言葉をよく聞きます。PM2.5とは「直径2.5マイクロメートル(μm)以下の空気中に浮遊する微粒子」のことです。(1μmは千分の1ミリ)

PM2.5は、石炭や石油などの化石燃料や草木を燃やしたときに発生します。今、問題になっているのは中国から偏西風に乗って黄砂と共に運ばれて韓国や日本に流れ込んできて大気汚染の原因となっていることです。中国の工場排煙(環境技術が未発達)や、家庭暖房用の泥炭の煙、精製度の悪いガソリンを使う車の排煙などが主な原因です。

それに加え、花粉の飛散時期と偏西風の時期が重なるため黄砂と一緒に飛んできて、アレルギーや呼吸器疾患のある人には重大な問題となっています。

### PM2.5の何が問題なのか

PM2.5は、直径が2.5μm以下と非常に小さいことが最大の問題で、吸い込むと肺の奥深くまで入り込み、呼吸器系疾患(喘息・気管支炎など)、アレルギー疾患(アトピーなど)の症状が悪化することが報告されています。肺がんのリスクや動脈硬化や心臓病など循環器疾患のリスクを高めるといわれています。特に老人や子どもに影響が大きいようで、極力取り込まないようにする必要があります。

### PM2.5の環境基準値(一日平均値)

PM2.5の環境基準値は、35μg/M3で70μgを超えるとときは、行政が不要の外出や屋外での運動、部屋の換気を控えるように指導をすることになっています。

### PM2.5から体を守るには

- ① PM2.5を吸い込まないことが重要ですが、PM2.5はあまりにも小さいため、風邪のときに使用するマスク(主にサージカルマスク)などでは防ぎきれません。N95(又はDS2)規格のマスクを使用することで予防できますが、顔の大きさに合ったものを正しく装着する必要があります。
- ② 外出を控えること。PM2.5の濃度が高いときには出来るだけ外出をしないこと、特にお年寄りや子ども、呼吸器系の病気のある人は注意しましょう。
- ③ 空気清浄機などを使用する。特に病人や子どものおられる家庭などでは、空気清浄機で空中の微少浮遊物質を吸着することが有効です。

### PM2.5と喫煙の関係

最近たばこの煙にもPM2.5が含まれていることがわかりました。様々な飲食店内のPM2.5濃度を調べたデータによると、完全禁煙の店と完全分煙の禁煙席以外では、ほとんどすべての席で100μg以上、不完全分煙の禁煙席で300μg以上、自由喫煙の居酒屋などではなんと700μg以上の高濃度でした。

家庭でも、喫煙する家族がいる屋内のPM2.5の濃度は喫煙者のいない家庭より30μg高いことが報告されています。

飛来するPM2.5への対策も重要ですが、喫煙によるPM2.5の影響は年中であり、大きいと思われる。愛煙家には厳しいですが今後の自分・家族のために勧めます。

### お知らせ

町立医療機関では、平成二十六年四月二日から診療体制を変更しています。ご確認のうえ受診してください。 ☎86-0220

文化・スポーツの功績を表彰

■スポーツ賞・文化賞

文化・スポーツの振興に貢献した個人・団体を表彰する京丹波町スポーツ賞および文化賞の表彰式が、三月二十一日、町中央公民館で開催。家族などが見守る中、受賞者に表彰状が授与されました。受賞者は次の皆さんです。  
(敬称略、主な功績のみ)

【スポーツ賞】

▼功労賞

岡 その子(須知)／長年にわたり、弓道協会の中心的立場を担うとともに、女性のスポーツ振興、後継者育成を積極的に行うことで弓道協会発展に尽力

▼優秀賞

須知高等学校男子ホッケー部／第四十四回全国高等学校選抜ホッケー大会・近畿ブロック代表



表彰状を受け取る受賞者(町中央公民館・蒲生)

蒲生野中学校ホッケー部／平成二十五年京都府中学校総合体育大会ホッケー競技・優勝  
ウオータリー京丹波町チーム／第二十六回全国健康福祉祭(ねんりんピック)京都予選会・優勝  
パークゴルフ京丹波町チーム／第二十六回全国健康福祉祭(ねんりんピック)京都予選会・優勝  
フレンズ(スポーツ少年団)／二〇一三全京都小学生バレーボール大会六年女子2組・優勝

【個人】

北村咲幸(豊田)／二〇一三マドンナカップイン予市ビーチバレー・ジャパ女子ジュニア選手権大会・優勝  
乾友梨子(大倉)／第四十九回全日本学生カヌー・スプリント選手権大会「女子カヤックペア五〇〇〇メートル」・四位  
山内香奈(保井谷)／第六十八回国民体育大会「BRS40JW」・三位  
堀真由香(本庄)／平成二十五年全全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会第二十九回全国高等学校カヌー選手権大会京都府予選会兼第二十三回京都府高等学校カヌー選手権大会「女子カヤックペア」・優勝

上田大賀(大阪府大阪市)／JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生カヌー大会「二年生男子カナディアンシングル」・四位  
野間咲月(升谷)／B&G杯全国少年少女カヌー大会「二〇一三」女子カヤックペア・二位  
梅原三和(大倉)／B&G杯全国少年少女カヌー大会「二〇一三」女子カヤックペア・二位  
片山友花(安栖里)／B&G杯全国少年少女カヌー大会「二〇一三」女子カヤックペア・六位  
津田芽衣(本庄)／B&G杯全国少年少女カヌー大会「二〇一三」女子カヤックペア・六位

【文化賞】

▼文化賞

【団体】

須知高等学校／全国高校生観光コンクール「観光甲子園」に出演。人間ドックと京都丹波地域の観光資源を盛り込んだプランを企画し、準グランプリ(神戸市長賞)を受賞。全国に京丹波町の観光文化の創造性を発信した功績は顕著  
▼文化功労賞  
【個人】  
原澤孝(中)／平成二十五年三月まで、長きにわたり和知民芸保存会の会長を務め、伝統文化の発展に寄与。第二十六回国民文化祭(平成二十三年)開催にも深く関わり、和知

民芸保存会五十周年「和知民芸の集い」(平成二十四年)を開催するなど、加盟四団体の発展に尽力した。  
江本力蔵(下栗野)／昭和六十年四月に和知人形浄瑠璃会に入会以来、太夫として語りを会員に指導するとともに、伝統芸能の保存・継承発展に努めた。また小・中学生への指導など、後継者育成に尽力した。  
野間和幸(升谷)／昭和四十七年六月に和知太鼓保存会に入会。昭和六十二年からは同会の会長を務める。小学生対象の子ども和知太鼓教室や和知中学校への指導など、伝統文化の振興・発展に尽力した。  
八木艶子(鎌谷中)／昭和四十六年一月にみずほ句歌会に入会以来、女性会員の先駆的、中堅的な存在として活動。後継者育成に取組み、句歌会の存続発展、文化振興に尽力した。  
上原和代(橋爪)／昭和四十六年一月にみずほ句歌会に入会以来、自営の傍ら女性会員の先駆的、中堅的な存在として取組み、句歌会の存続発展、文化振興に尽力した。  
▼輝き賞  
須知高等学校農業クラブ／第六十四回京都府学校農業クラブ連盟大会意見発表の部「食料・生産」・優秀賞  
／同「文化・生活」・優秀賞／同「プロジェクト発表の部」食料・生産・優秀賞  
／同「文化・生活」生活・優秀賞  
塩田彩花(鎌谷中)／第五十八回神心流吟と舞全国コンクール「吟詠の部少年吟詠B」・優勝

有事に身を守る避難訓練

■原子力災害住民避難訓練

町、町消防団および京都府などが、地震発生に伴う高浜原子力発電所での事故を想定した住民避難訓練を三月十六日に実施。有事の際に迅速に行わなければならない住民の避難および対応訓練に取り組みました。

住民避難訓練は、和知地区の中、角、広瀬区の住民二百三十七人を対象に実施。午前五時四十分福井県若狭沖で発生した大地震により、関西電力高浜原子

力発電所から放射性物質が流出したという想定のもと、各地区の集合場所に集まった住民は、用意されたバスで避難先となった山村開発センターへ避難しました。避難訓練終了後に実施した研修会では、放射線や原子力災害に対する説明が行われたほか、東日本大震災で被災した福島県浪江町の復興支援員である富川牧江さんが、東日本大震災での原発事故の体験などを講演。参加者は、富川さんの話に聞き入っていました。



誘導を受け、助け合いながら集合場所へ向かう住民(角)

健康で高齢を楽しもう

■地域包括医療講演会

地域包括医療講演会が、三月十五日、和知ふれあいセンターで開催。町民など約四百人が参加しました。

この講演会は、本町が推進する地域包括ケア推進事業の一環として実施したもの。講師の京都府立医科大学の吉川敏一学長が、「高齢を楽しもう」と題して講演しました。

吉川学長は、リウマチの人が、漫才や落語を聞いて笑うと、痛みの原因となる物質があまり出なかつた事例などを紹介し、「昔は(笑いに)気が紛れると思われていたが、本当に痛くなくなつたことがわかってきました。昔からいいと言われていたことが、証明されてきました」と、日々の生活に笑いがあることの大切さを話しました。



講演する吉川学長(和知ふれあいセンター・本庄)

**わたしたちの町**

人口	15,800(-66)
男	7,452(-26)
女	8,348(-40)
世帯数	6,445(-19)
4月1日現在 / ( )は前月比	

**義援金などの受付状況**

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	9,098,674円
復興支援募金	5,875,587円
*平成26年3月31日現在	

**ご寄附ありがとうございました**

ふるさと納税制度により、京都市伏見区在住の井爪雅幸さんから「魅力ある産業をはぐくむまちづくり」に役立ててください」と、六十万円の寄附をいただきました。ありがとうございました。

竹口香(実勢)／第十七回全国きものデザインコンクール・滋賀県知事賞  
林沙紀(蒲生野)／第八回「北方領土と私たち」作文コンクール・優秀賞  
(京都府教育委員会教育長賞)  
妹尾歩(曾根)／平成二十五年度明日選挙啓発ポスター募集・京都府選挙管理委員会委員長賞

慣れ親しんだ校舎を旅立つ

■卒業式・卒園式

町内の小中学校・保育所・幼稚園の卒業式などが行われ、春からの新たな生活を前に、思い出の詰まった学び舎を後にしました。

町内五小学校では三月二十日に卒業式が行われ、百三十四人が六年間の小学校生活を終えました。このうち、三十九人が卒業した瑞穂小学校では、卒業生が「私たちがこの日を迎えられたのは、多くの皆さんのおかげです。胸いっぱい喜びと希望を抱いて飛び立ちます」と、恩師や在校生、保護者への感謝の思いを込めて別れの言葉を述べました。

このほか町内の中学校では、三月十三日に百四十人が卒業。九年間の義務教育を終えました。また、三月十八日には須知幼稚園で二十七人、三月二十六日には三保育所で六十一人が、小学校入学に向け巣立ちました。



卒業証書を受け取る卒業生(和知中・市場)



真新しい制服に身を包み式に臨む卒業生(瑞穂小・橋爪)



元気いっぱい歌を歌う園児(須知幼稚園・須知)

地域福祉に尽力し受賞

■永年勤続民生委員・児童委員表彰

民生委員・児童委員を五期十五年務め、昨年十二月に退任した正田恭丈さん(小畑)に対し、全国民生委員児童委員連合会から永年勤続退任民生委員・児童委員表彰の授与が決まり、三月七日、役場町長室において寺尾豊爾町長が正田さんへ表彰状

を伝達しました。

正田さんは、平成十年十二月に委員の委嘱を受けてから、地域でも比較的多い高齢者を中心に、訪問活動などに取り組んできました。

現在、町社会福祉協議会の副会長を務める正田さんは「民生委員だったときの経験を生かし、社会福祉協議会とのパイプ役としてこれからもがんばっていき



表彰状の伝達を受けた正田さん(写真左)(役場町長室・蒲生)

たいです」と、地域福祉の向上に向けた思いを話していました。

京丹波町のシンボル

【町の鳥】うぐいす



【町の木】イチヨウ



【町の花】つつじ



編集後記

平成26年度も引き続き、広報担当としてお世話になることになりました。今後とも、町民の皆さんに親しまれる広報紙を目指していきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

年度末も押し迫った3月中旬ごろ、生まれて初めてのインフルエンザを体験しました。熱は薬ですぐに下がりましたが、外出ができない日々。多くの方にご迷惑をおかけしました。改めて体調管理には気をつけなければと再認識した数日間でした。(T)